

(様式2)新規評価シート

建設部 砂防課

事業名		砂防(通常砂防)		路河川名等		(砂)堂平		
事業毎の通番		5		市町村名		上高井郡高山村		
				箇所名(ふりがな)		天神原(てんじんばら)		
事業概要	事業目的	堂平は、流域面積0.17km <sup>2</sup> の土石流危険渓流Ⅰである。土砂災害氾濫予想区域内に35戸の人家があり、他にも公会堂、県道豊野南志賀公園線、村道等が保全対象である。上流には不安定な土砂が堆積しており、土石流発生時には保全対象への影響が懸念される。特に天神原地区内に土砂が流失した場合、集落が孤立化する。このことから本渓流に砂防堰堤を施工し、人家等を保全する。						
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	4-1地域防災力の向上(災害に強い地域づくり)		事業実施の根拠法令等		砂防法		
	関連する事業、計画等							
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	県道、村道、人家35戸、公共施設3施設						
	着手年度	平成29年度	事業期間		9年間		事業費(千円)	
	完成年度(見込み)	平成37年度	費用対効果		15.8		財源内訳(千円)	
	全体事業内容(主な工種)	砂防堰堤工2基、溪流保全工L=60m			500,000	250,000	225,000	25,000
年度事業内容(主な工種)	測量、調査、設計			20,000	10,000	9,000	1,000	
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	県道、村道、人家35戸、公共施設3施設の保全						
	間接的効果(定量的・定性的)	土砂災害による観光(小布施町、高山村温泉郷等)被害の低減						
評価の視点	必要性	【保全人家戸数】:35戸 【保全公共施設】:県道、村道、公民館、消防施設、電話中継施設 【要配慮者利用施設】:なし 【避難場所、避難路】:県道					評価	A
	重要性	【災害履歴】:なし 【交通影響】:県道、村道 【位置付け】:地域防災計画上の位置付けあり(土石流危険渓流Ⅰ)					評価	B
	効率性	【費用対効果】:15.8 【早期効果発現】:事業期間 9年 【工法等比較検討】:砂防計画策定時に検討を実施 【総合調整】:調整済み(保安林なし)					評価	A
	緊急性	【地形地質】:火砕岩類 【流域植生】:放置林 【平均渓床勾配・土砂整備率】:勾配14° 整備率 0% 【危険地区】:土砂災害防止法に基づく土砂災害特別警戒区域あり					評価	A
	計画熟度	【情報共有】:関係者に周知している 【地域要望】:村、地区から事業要望あり(H26.6,H27.6) 【地域合意】:事業目的について合意形成が図られている 【住民参加】:施設の維持管理(草刈り等)実施					評価	B
	部意見	当該溪流の保全対象には、人家32戸、避難場所が隣接する県道があるため、速やかな土砂災害対策が必要である。	行政改革課意見	流域内には不安定土砂や倒木が多数存在し、今後の降雨等により土砂流出の恐れがあり、保全対象に人家、県道、村道、公民館があることから、必要性、緊急性が認められる。	評価結果	○	総合評価	A

事業概要説明図表	【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)		
	【整備の必要性がわかる状況写真等】		
事業周辺環境	航空図		
	①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	堂平は、流域面積0.17km <sup>2</sup> の土石流危険渓流Ⅰである。土砂災害氾濫予想区域内に32戸の人家があり、他にも公会堂、県道豊野南志賀公園線、村道等が保全対象である。上流には不安定な土砂が堆積している。地区内に土砂が流失した場合、集落が孤立化する可能性がある。このことから村及び地区からも、砂防事業の実施を強く要望されている。	
	②地域からの要望経緯及び地域の関わり	高山村及び地区から要望がある。	
	③事業説明等の経緯	高山村を通して、事業要望が出されていた。今後事業計画を説明していく予定。	
	④他事業・プロジェクトとの整合、関連	土砂災害防止法に基づくソフト対策の取り組み	
	⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	大型ダンプ車の交通による安全の確保や重機の騒音など、地区住民の生活への影響を最小限に抑える。	
	⑥地域活性化への影響と配慮	保全対象(人家、県道、村道等)を土石流から守り、地区の孤立化を防ぐ。また県道の安全性を確保することは松川渓谷や雷滝、五色・七味温泉をはじめとする高山村内の観光地へ安全に向かうことができることに繋がり、地域観光への支援効果も期待される。	
⑦その他	砂防指定地申請予定	事業代表地点の緯度経度	北緯:N 36° 40' 59" 東経:E 138° 24' 31"